



# 中期経営計画

(2019年度～2020年度)

2019年5月17日

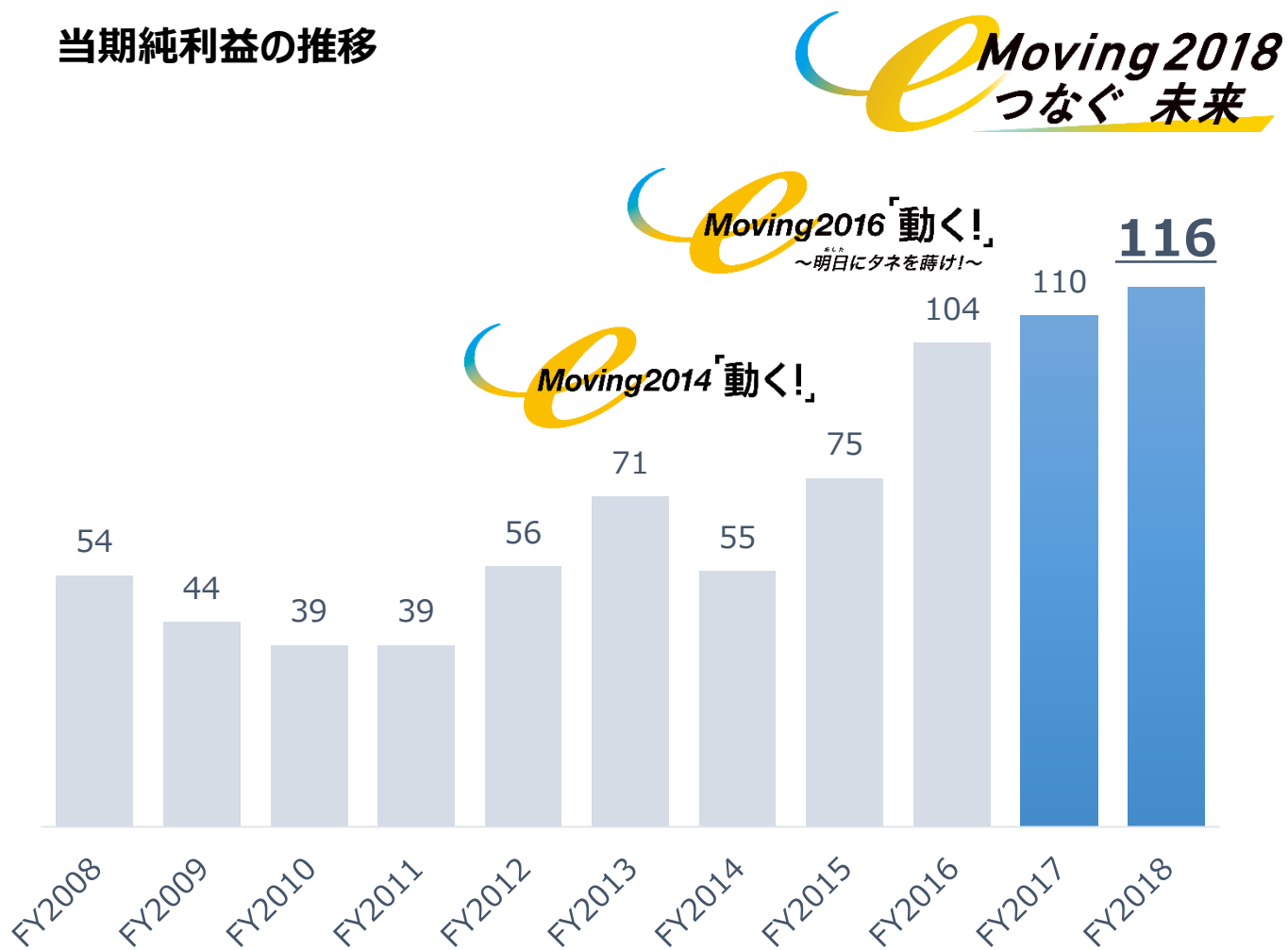
伊藤忠エネクス株式会社

(東証一部:8133)

# 当期純利益推移及び振り返り

単位：億円

## 当期純利益の推移



2018年度決算において、  
当期純利益及びROEは  
中期経営計画を達成

	2018年度 計画	2018年度 実績
営業利益	187億円	179億円
当期純利益	113億円	116億円
ROE	9.0%以上	9.7%



—新中期経営計画のコンセプト—  
「Moving2018 つなぐ 未来」の期間にて安定的に  
当期純利益100億円を創出する体制を整備。  
2019-2020の2ケ年については  
つないだ基盤を活かし、飛躍の期間と位置づける。

## —定量計画—

当社株主に帰属する当期純利益：125億円

ROE：9.0%以上

連結配当性向：40%以上

2年間累計投資額：600億円

## —基本方針—

### 成長戦略の推進

- ① 収益基盤の維持・深化
- ② 海外・周辺分野の開拓
- ③ 新規事業の創出

### 組織基盤の進化

- ① グループ経営の強化
- ② 成長を支える人材戦略
- ③ イノベーションの推進



## 成長戦略の推進

### 1 収益基盤の維持・深化

- お客様・地域社会との関係をより深く
  - ・ヒト、モノ、カネの適正配分
  - ・グループシナジーの創出
  - ・顧客基盤の更なる活用

### 2 海外・周辺分野の開拓

- 海外に打ってでる
  - ・海外事業への積極投資
  - ・周辺事業のM&A推進
  - ・パートナーとのアライアンス構築

### 3 新規事業の創出

- 事業領域を広げる
  - ・環境関連ビジネス等の推進
  - ・あらゆる経営資源の活用

## 組織基盤の進化

### 1 グループ経営の強化

- あらゆるつながりを密接に
  - ・グループ会社経営管理の深化
  - ・リスク管理体制の整備
  - ・ESG・SDGs に基づいた事業戦略

### 2 成長を支える人材戦略

- 社員の力を引き出す
  - ・ダイバーシティの推進
  - ・グローバル人材の育成
  - ・ENEX EARLY BIRDの浸透

### 3 イノベーションの推進

- デジタル化とオープンイノベーション
  - ・ITを基軸とした事業基盤の整備
  - ・既存事業の効率化追及
  - ・デジタルを駆使した新規ビジネス推進

「Moving2020 翔ける」の2年間は飛躍の期間と位置づけ、デジタル技術の活用、基盤事業の維持強化、海外・周辺事業及び新規事業への積極投資（2年間累計600億円）を実施し、2020年度当期純利益125億円を目標とする。

	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 計画	2020年度 計画
当期純利益	110億円	116億円	118億円	125億円
ROE	9.8%	9.7%	9.0%以上	
配当性向	41%	41%	40%以上	
実質営業CF	222億円	193億円	每期200億円以上	
新規投資額	244億円	164億円	600億円 (2年間累計)	

※実質営業CF「営業CF」-「運転資金増減等」

# Moving2020成長イメージ



■ 基盤維持投資の継続

新規事業の創出

海外・周辺分野の開拓

収益基盤の維持・深化



■ 新分野・環境ビジネスへの挑戦



■ 海外・周辺事業を積極展開

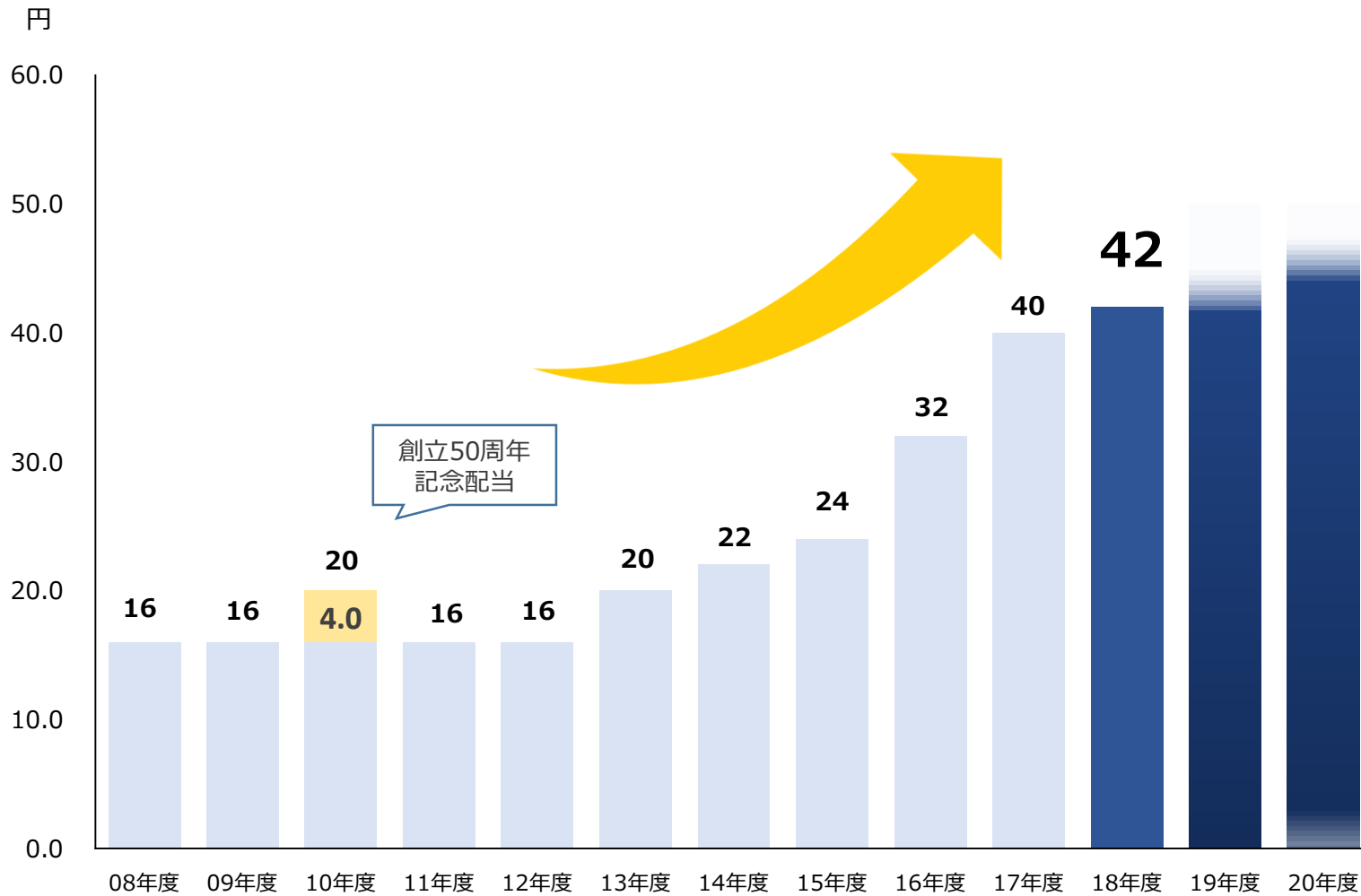
**2年間累計投資額**  
**600億円**

	Moving2018（2か年累計）		Moving2020（2か年累計）	
	投資額	主な投資実績	予定投資額	主な投資計画
新規事業の創出				<ul style="list-style-type: none"> <li>環境関連ビジネス新規事業領域（オープンイノベーション等）</li> <li>自動車関連ビジネス</li> </ul>
海外・周辺分野の開拓	205億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラファンド設立/上場</li> <li>・バイオマス発電所</li> </ul>	400億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外事業</li> <li>新規熱供給プラント</li> <li>産業ガス分野M&amp;A</li> <li>LPガス分野M&amp;A</li> <li>再生可能エネルギー開発</li> <li>基盤事業デジタル電力小売システム開発</li> </ul>
収益基盤の維持・深化（CAPEX）	203億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LPガス供給設備、CS※設備</li> <li>・発電、熱供給設備</li> <li>・自動車ディーラー店舗</li> <li>・本社移転</li> </ul>	200億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LPガス、CS関連設備更新</li> <li>・自動車ディーラー店舗</li> <li>・発電、熱供給設備更新</li> <li>・次期基幹システム検討</li> </ul>
投資総額		408億円		600億円

※CS カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所



# 株主還元



年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
配当性向 (%)	30.5%	42.7%	58.6%	46.8%	32.4%	30.5%	45.2%	36.3%	34.8%	41.0%	41.0%	40%以上	40%以上

配当方針

継続的な安定配当

連結配当性向

40%以上を目標

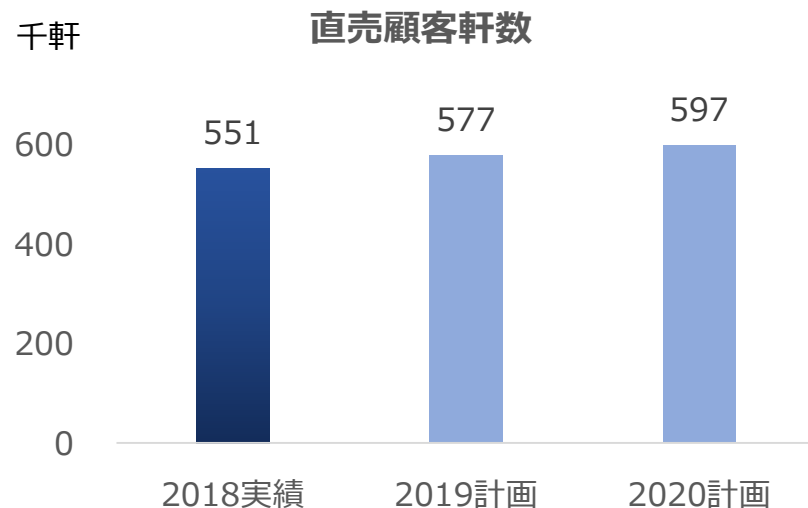
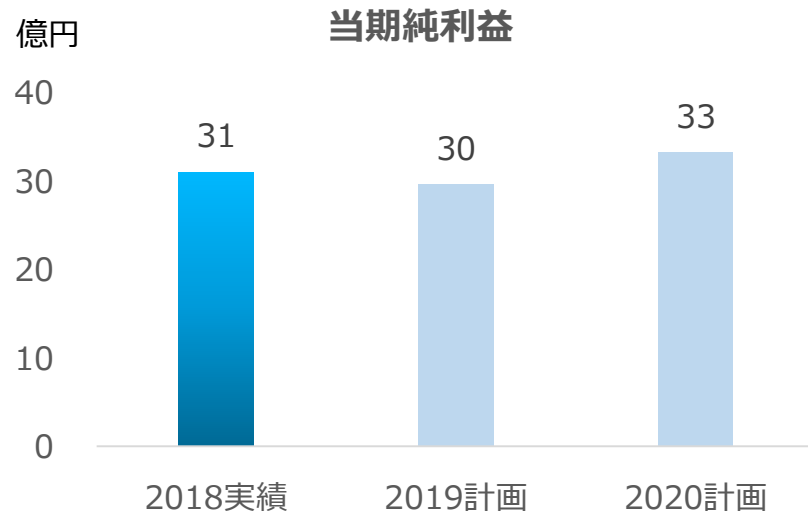
配当性向を40%以上を目標に株主還元を安定的に実施。



18年度配当については年間42円の過去最高水準に。



# セグメント別情報



## 「新時代の事業展開」(稼ぎ方改革の推進)

### ■ LPガス事業

- ・データベースの整備でお客様の“見える化”を徹底し、ベネフィットを提供していく
- ・Webツールの採用・テコ入れで、集客や販売の革新を目指す
- ・LPWA※を全国的に普及し物流・保安を効率化させ、働き方改革を推進する

### ■ 産業ガス事業

- ・7月に発足する「産業ガス部」と「伊藤忠工業ガス」との連携で変革路線へ
- ・新規発掘、製造効率向上の組織的展開を推進する
- ・ガス容器耐圧検査受注増大及び受注領域の拡大を目指す

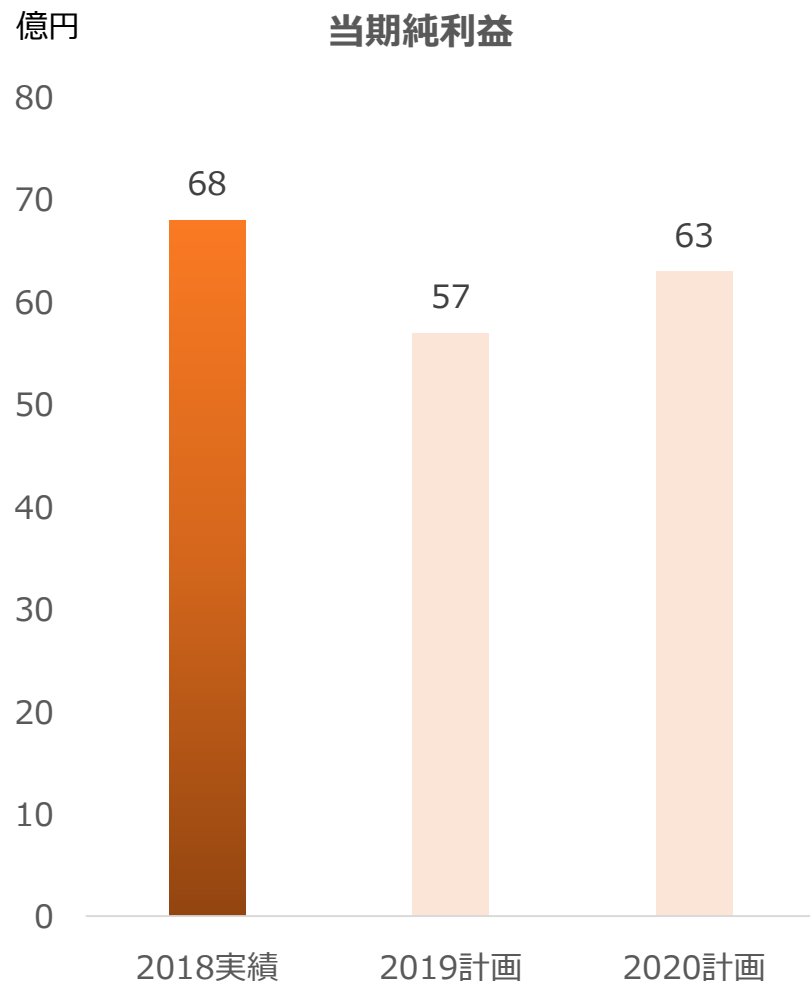
### ■ 海外事業展開

- ・4月より「海外事業課」設置、基本スタンスを“維持”から“拡大”へ
- ・フィリピンとインドネシアに続く、事業拠点設置を目指す

### ■ 新規事業開拓

- ・5月より「新事業開発課」設置。
- あらゆる情報源・ネットワークを駆使し、着実な成果を上げていく

※LPWA : Low Power Wide Area 消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式



## “守る” “変える” “活かす” “攻める”

### ■ “守る”

- ・石油販売系列ネットワークを維持するためのドミナント戦略の展開

### ■ “変える”

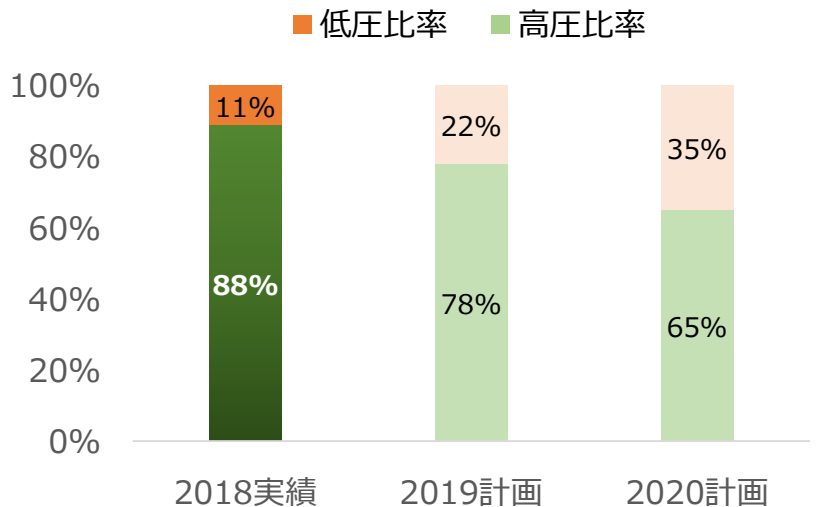
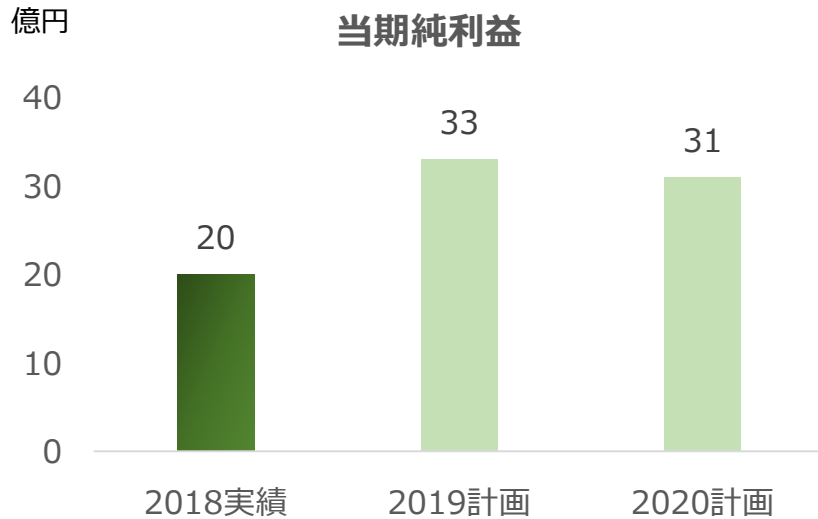
- ・より支持される企業へと変革すべく、事業環境の変化に対応していく

### ■ “活かす”

- ・自社保有資産の有効活用、自主物流機能を活かしたビジネスモデルの確立

### ■ “攻める”

- ・自動車ビジネスの展開（国内・海外）、新規事業領域への進出



※当社電力販売量に占める高圧/低圧比率

## 系列強化と顧客基盤拡大

### ■ 電力販売事業

- ・販売戦略 グループ基盤×デジタル武装による「toC」開拓
- ・調達戦略 安定的で価格競争力のある電力の調達

### ■ 金融／資産管理事業

- ・再生可能エネルギー電源等の開発・購入を行い収益を確保
- ・エネクス・インフラ投資法人の規模拡大のサポート

### ■ 海外事業

- ・得意領域（太陽光発電）で他社と組み、海外進出を検討

## ■ ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

### 問い合わせ先

**コーポレート・コミュニケーション室**

**担当：國貞、今泉、和田**

**【TEL】03-4233-8003**

**【FAX】03-4533-0102**

**【E-MAIL】enex\_irpr@itcenex.com**

